

# 平成 28 年度 岡山県学力・学習状況調査 中学校 第 1 学年 国 語

全調査問題・正答及び、各問題の市・県の平均正答率とその差等を掲載。

※市・県の数値は％，差の数値はポイントとして表示。

※自校の平均正答率を，追記して御活用ください。

※市と県の平均正答率の差については，小数第 2 位以降の数値も反映されていることから，0.1 ポイントの差異が生じている場合がある。

## ○本資料の掲載場所

学びの扉＞広場に行こう＞様式・事務手引きの広場＞

007－00115 指導課（岡山県学力・学習状況調査）

＞H28 岡山県学力・学習状況調査問題

# 1

次の問いに答えなさい。

- (1) 次は、岡山県出身の作家である内田百閒が書いた文章の一部です。文章中の――部①から④について、①、②の漢字はひらがなで、③、④のカタカナは漢字で書きなさい。

① ② ③ ④

① (正答)おんだん  
市 91.2 県 92.7  
差-1.5 自校( )

② (正答)かぎ  
市 96.5 県 96.7  
差-0.3 自校( )

(内田百閒「麗らかや」による)

③ (正答)沿岸  
市 44.3 県 44.2  
県+0.1 自校( )

④ (正答)暮  
市 80.0 県 79.8  
差+0.2 自校( )

- (2) 次の①、②の文の――部の漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。

きなさい。

- ① メールを受信する。  
② 話し合いを重ねる。

- (3) 次の①、②の文の――部のカタカナを、漢字で書きなさい。

① (正答)じゅしん  
市 94.2 差 -0.3  
県 94.5  
自校( )

② (正答)かさ  
市 98.3 差 0.0  
県 98.3  
自校( )

- ① セカイ遺産に登録される。  
② 太陽の光をアびる。

① (正答)世界  
市 98.4  
県 98.4  
差 0.0  
自校( )

② (正答)浴  
市 70.6  
県 59.6  
差 +11.0  
自校( )

# 2

藤田さんは、岡山県の後楽園周辺にある文学碑(石に短歌などを刻みつけたもの)について調べてレポートにまとめました。次は、その一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

## 【後楽園の文学碑】

後楽園は岡山市にある庭園で、日本三名園の一つです。昔から後楽園を訪れる文学者は多く、周辺には文学碑が設置されています。私は以前から、これらの文学碑が気になっていたので、後楽園を題材にして、どんな人が、どんな作品を作ったのかを調べることにしましたのです。調べた中で私が注目したのは次の作品です。

「春寒き梅の疎林を行く鶴の高く歩みて枝をくぐらず」

これは、歌人の中村憲吉が後楽園を訪れたときに、梅林を歩くタンチョウヅルの姿を詠んだ短歌です。園内を野生の鶴が自由に歩き回る。この時代には、そんな風景がよく見られたのです。首をすつと伸ばした姿勢で歩いている鶴の姿が目につかびます。



(↑中村憲吉の文学碑)



(↑後楽園)

(1) — 部①を、「だから、」を使って二つの内容に分けて書き直すことにしました。一つめの文の終わりの七文字と、二つめの文の「だから、」に続く七文字を書きなさい。ただし、句読点は文字数に数えません。

(2) — 部②「園内を野生の鶴が自由に歩き回る。」の文で、主語と述語はどの部分ですか。次の1から5までのの中から、それぞれ一つずつ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 園内を
- 2 野生の
- 3 鶴が
- 4 自由に
- 5 歩き回る

(1)(正答)  
(一つめの文の終わり)なっていました  
(二つめの文の終わり)後樂園を題材に  
市 29.7 県 25.4 差 +4.3  
自校( )

(2)(正答)  
(主語) 3 (述語) 5 【完答】  
市 63.0 県 68.3 差 -5.2  
自校( )

(3) 藤田さんは、このレポートのまとめとして、自分の考えを次のように書きました。これを読んで、あとの①・②の問いに答えなさい。

昔から後樂園の風景には鶴が欠かせないものでした。現在は、タンチョウヅルの数が減ってきており、国の天然記念物に指定されるほどになっています。しかし、鶴の保護がどんなに難しくても、あきらめることなく取り組み、きつと成功すると思います。後樂園に鶴が舞うという美しい風景を守るために、私たちは道草を食うことなく、日々、努力するべきです。

① ……部の様子を表す「石」という言葉がつくことわざを一つ書きなさい。

② — 部「道草を食う」の意味として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 失敗しないように、物事を始める前によく注意する。
- 2 早い危険な方法より、遅くても確実な方法をとる。
- 3 すでに終わったことは後悔しても取り返しがつかない。
- 4 目的をはたす途中で他のことに時間を使得って遅くなる。

② (正答) 4  
市 72.0 県 73.7  
差 -1.6 自校( )

① (正答) 石の上にも三年  
市 51.3 県 61.2  
差 -9.9 自校( )

# 保健だより 3月号

平成28年3月2日

4月からは新しい生活が始まりますが、そのときに重要となるのが、自分の「健康」です。今号では、来年度の健康管理の参考にしてもらうために、今年度1年間の保健室の利用状況についてまとめました。

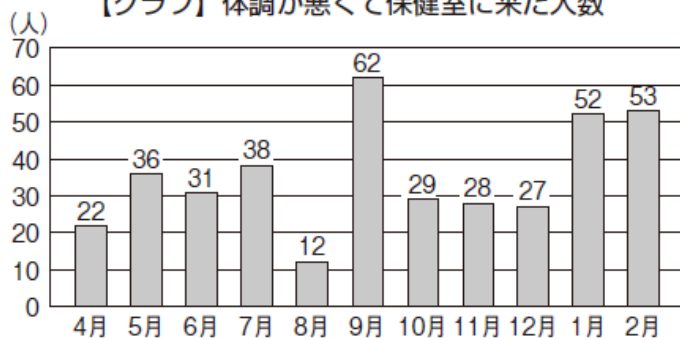
## 1年間のまとめ

最初に1学期は、5月から7月にかけて、保健室を利用した人が多くなりました。これは、この時期にウイルス性の胃腸炎が流行したためです。

次に2学期は、9月に体調をくずした人が多かったです。これは、夏休み明けでよい生活のリズムを取りもどせなかったことや、残暑が厳しかったことが主な原因だと考えられます。

最後に、3学期は1月と2月に保健室を利用する人が多くいました。

【グラフ】体調が悪くて保健室に来た人数



(ア)

(イ)

第一中学校 保健委員会

3

【下書き】

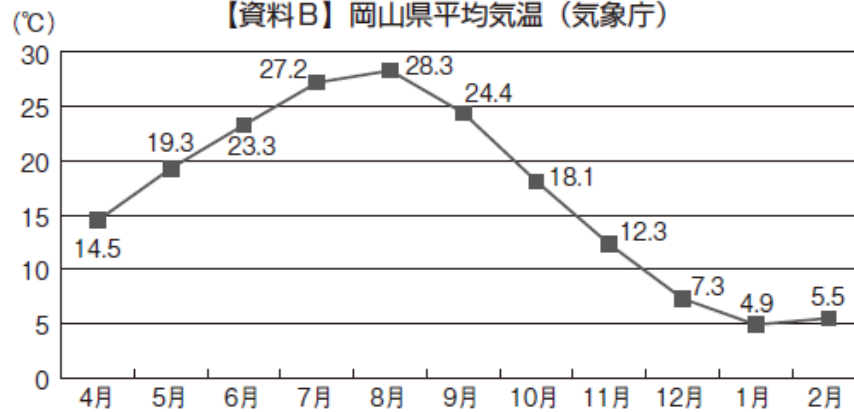
保健委員会では、三月に発行する「保健だより」の記事を書くために、【資料A】から【資料D】を集めて、左のような「下書き」を書きました。また、5、6ページの【話し合いの様子①】と【話し合いの様子②】は、【資料A】から【資料D】と【下書き】をもとに、記事をどのような内容にするかを話し合っている様子です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料A】けがの種類と発生場所

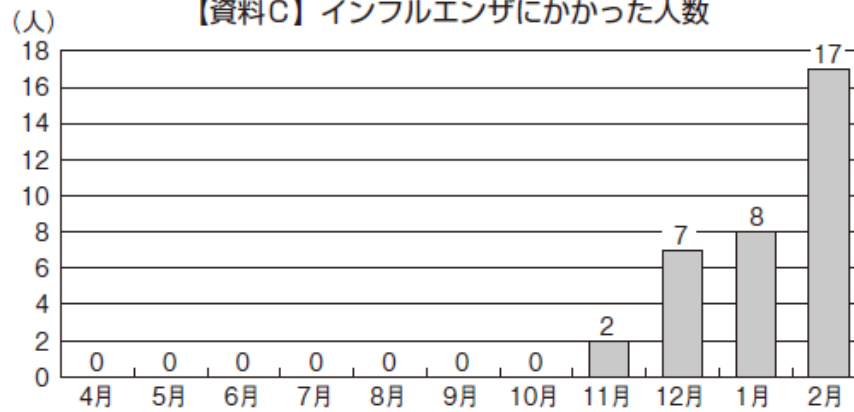
打撲 <small>だぶく</small>	骨折	ねんざ	脱臼 <small>だつきゅう</small>	その他
38.5%	29.1%	26.3%	1.2%	4.9%

教室	体育館	廊下・階段 <small>ろうか</small>	校庭	プール	その他
12.8%	30.1%	7.4%	44.2%	0.8%	4.7%

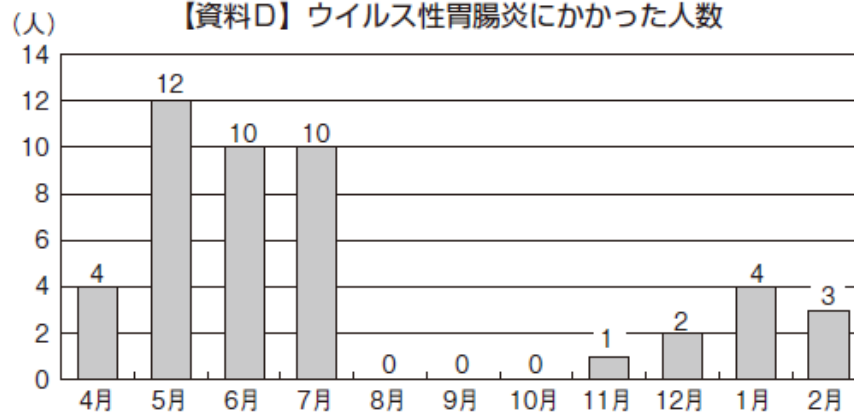
【資料B】岡山県平均気温（気象庁）



【資料C】インフルエンザにかかった人数



【資料D】ウイルス性胃腸炎にかかった人数





## 【話つ合ひの様子①】

橋本「三月号の記事のうち、『一年間のまとめ』について、谷原さんが『下書き』を書いてきてくれました。この部分について気づいた点があれば指摘してください。」

西野「一、二学期については、保健室を利用した理由が具体的に書かれています。今号の保健だよりの目的は①です。だから、保健室の利用者が多かった理由を、三学期のところにも加えた方がよいと思います。」

全員「賛成。」

橋本「では、三学期の状況をふり返ってみましょう。」

小林「グラフ」からもわかるように、一月と二月は保健室に来た人が多かったです。寒くなり、かぜが流行したからだと思います。」

竹田「二学期にも書いてありますが、学校が休みになると、普段と異なる生活リズムになります。そのために、体調をくずした人もいたはずですよ。」

橋本「なるほど。では、二人の意見をもとに、谷原さんに三学期の部分を書き直してもらおうと思います。谷原さん、いいですか。」

谷原「はい。わかりました。」

## 【話つ合ひの様子②】

橋本「次に、『一年間のまとめ』の下に書く、もう一つの記事の内容を決めます。この保健だよりは三月号なので、発行する時期にふさわしい記事を書きたいですね。」

小林「三月号は春休み前に発行されるので、春休みの過ごし方について呼びかけたらよいと思います。」

橋本「今の小林さんの発言について、意見はありますか。」

西野「私は、小林さんの意見に賛成です。」

橋本「西野さん、②。」

西野「はい。『グラフ』を見ると、夏休み明けの九月、冬休み明けの一月に体調を悪くした人が多かったことがわかります。休み明けは生活リズムが乱れて体調をくずしやすいので、休みの間の過ごし方について注意した方がよいと思うからです。」

橋本「では、具体的にどんなことに注意したらよいでしょうか。」

谷原「早寝早起きを心がけて、規則正しい生活をするとういいます。」

竹田「外出する機会も増えると思うので、家に帰ったときには、必ず手洗いうがいをするべきです。」

橋本「わかりました。今、西野さんと谷原さん、竹田さんの三人に出してもらった意見を取り入れた記事にしたいと思っています。みなさん、いかがですか。」



全員「賛成です。」

橋本「では、この部分の記事を書いてくれる人はいますか。」

小林「はい。私が書きます。」

(1) 【話し合いの様子①】の中の①にあてはまる言葉を、「話し合いの様子①」の中から十九字で抜き出して書きなさい。

(2) 谷原さんは、「下書き」の中の……部を書き直すときに、「話し合いの様子①」で出された意見に加えて、資料を見てさらに気づいたことも入れて、左の……のように書き直しました。次の……にあてはまる言葉を、十字以上、二十字以内で書きなさい。

また、その際に根拠となる資料を【資料A】から【資料D】までの中から一つ選んで、その記号を書きなさい。

最後に、三学期は一月と二月に保健室を利用する人が多くいました。その原因は、寒くなってかぜが流行したことが挙げられます。また、一月は冬休み明けで、生活のリズムが乱れたことも一因です。さらに二月には、……ことが保健室を利用した人が多かった理由の一つです。

(3) 【話し合いの様子②】の中の②にあてはまる言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 春休み明けに体調をくずさない方法はありませんか
- 2 春休みをどのように過ごせばよいと思いますか
- 3 小林さんの意見に賛成する理由は何ですか
- 4 小林さんの意見についてどう思いますか

(1) (正答)来年度の健康管理の参考  
にしてもらうため  
市 41.3 県 42.7  
差 -1.4 自校( )

(2) (正答)(言葉)(例)インフルエンザが流行した  
(資料)C 【完答】  
市 65.8 県 66.9  
差 -1.0 自校( )

(3) (正答)3  
市 58.4 県 60.6  
差 -2.2 自校( )

【話し合いの様子②】  
で決まったことをもとに、小林さんこばやし

問いに答えなさい。

書きなさい。

字以内で書きなさい。

答用紙に書きなさい。

[illegible]

① (正答)(例)春休みの過ごし方について  
市 61.3 県 62.6  
差 -1.3 自校( )

② (正答)(例)休み明けは生活リズムが乱れて体調をくずしやすいので、春休み中は、早寝早起きを心がけて、規則正しい生活を送るようにしましょう。また、家に帰ったときには必ず手洗いとうがいをするとよいでしょう。<94字>

市 62.4 県 65.1

差 -2.7 自校( )



一年一組では、クラス全員で同じ本を読み、気に入った場面についてお互いに紹介文を書いて見せ合うことになりました。そこで山崎さんと大谷さんは、次の場面を紹介しようと考えています。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(安東みきえ「天のシーソー」による)

(安東みきえ「天のシーソー」による)

(安東みきえ「天のシーソー」による)

① この文章を前半と後半の二つに分けたときに、後半が始まる初めの五文字を、文章中から抜き出して書きなさい。

⑫

② — 部①「胸の虫さがれが化膿して、ちょっとふれただけでとび上がるほど痛かった」とありますが、このことを他のものにたとえて表現した箇所があります。何にたとえて表現していますか。次の□にあてはまる言葉を、文章中から七字で抜き出して書きなさい。

⑬

□にたとえて表現している。

③ — 部②「なっ、なわけないでしょっ」と言ったときのミオの気持ちとして、最も適切なものを、次の1から4までの

中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

(1) (正答)佐野は器用

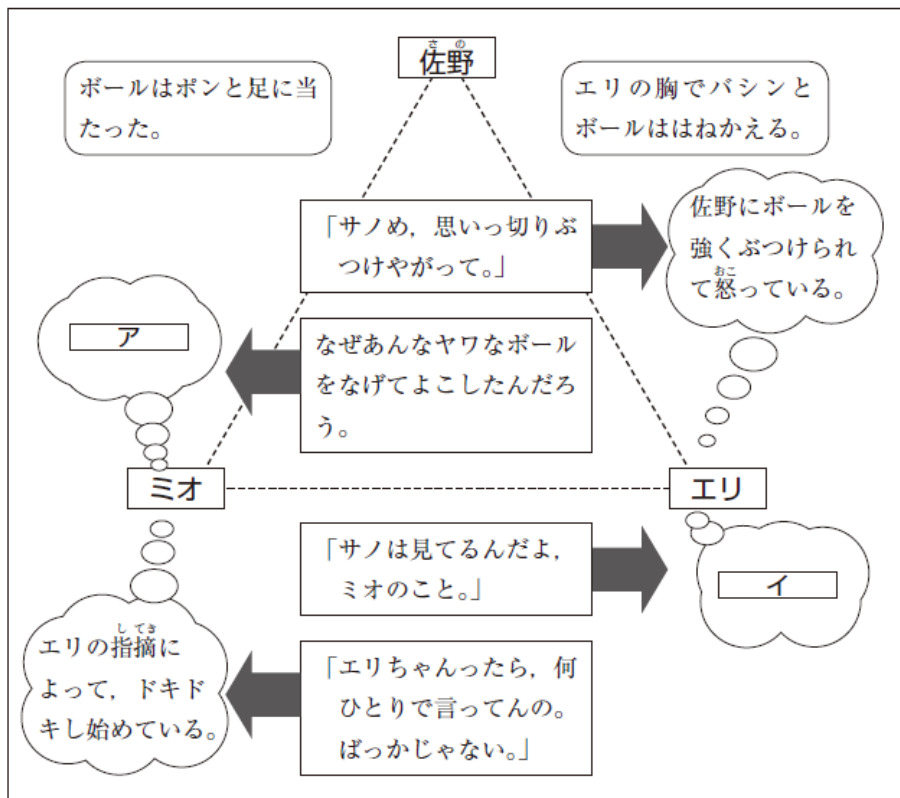
市 10.1 県 11.5  
差 -1.4 自校( )

(2) (正答)噴火寸前の火山

市 62.8 県 65.8  
差 -3.0 自校( )

(3) (正答) 2

市 65.6 県 67.0  
差 -1.4 自校( )



(4) 山崎さんは、この文章に登場する人物の関係を、図でまとめることにしました。次の図の「ア」「イ」にあてはまる言葉として最も適切なものを、下の1から5までのの中から一つずつ選んで、その番号を書きなさい。

㊦

(4) (正答) ア…2 イ…5 【完答】

市 46.8 県 49.3

差 -2.6 自校( )

- 1 ミオが佐野に胸のキズのことを話していたと思っている。
- 2 佐野が弱いボールをなげたことを不思議に思っている。
- 3 強いボールをなげた佐野に対して反感を抱いている。
- 4 佐野がエリのことをよく見ていると感心している。
- 5 佐野はミオに好意を持っていると想像している。

- (5) 大谷<sup>おおたに</sup>さんは、この文章を読んだあと、クラスのみんなに向けて【紹介文<sup>しょうかいぶん</sup>】を書きました。大谷さんが【紹介文】で伝えようとした、この場面のよさは何ですか。最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

【紹介文】

この場面でミオは、最初は佐野の行動に疑問を抱いていましたが、エリとのやり取りを通して、最後にはそれまで気がつかなかったことに気づいています。自分のことを見てくれる人がいることを知ったときのうれしさや照れくささが、最後の「胸にできた小さな火山が、鼓動<sup>こどう</sup>に合わせてドキドキと脈<sup>うみ</sup>うった」という表現で描かれています。

私はこの場面を、移り変わる主人公の気持ちに、誰<sup>だれ</sup>でも共感でき、寄りそうことができる場面だと思ったので、紹介しようと思いました。

- 1 ミオの心情が変化していく様子。
- 2 佐野の様子が変わっていく描写<sup>びやうしや</sup>。
- 3 同級生との軽快なやり取り。
- 4 たとえを使用した表現技法。

(5) (正答) 1

市 61.5

県 63.3

差 -1.8

自校( )

問題は次のページに続きます。

(6) 山崎<sup>やまざき</sup>さんは文章を読みながら、印象に残る表現を探しました。そして、その表現のおもしろさがクラスのみんなに伝えるように、【紹介文<sup>しやうび</sup>】を書いています。【紹介文】の中の□にあてはまる言葉を、下の条件に合わせて書きなさい。

【山崎さんの考え】

この表現はおもしろい。ドッジボールをしながらも、佐野<sup>さの</sup>はミオの異変に気がついてたのだろう。このたとえばからは、佐野のボールがやさしくて、ミオに対する思いやりにあふれていることが伝わってくるので印象に残るなあ。



【紹介文】

この場面には、たとえばを使ったすてきな表現がたくさんありますが、その中でも特に、私の印象に残った表現があります。それは、

条件1 山崎さんがおもしろいと考えた表現を、文章中から

「」を使って引用し、それに続けて、山崎さんがおもしろいと考えた理由を、【山崎さんの考え】の言葉を使って書くこと。ただし、「」は一文字に数えます。

条件2 「それは、」に続けて、七十字以上、百字以内で書くこと。段落分けはしなくてよい。

※ 左の枠<sup>わく</sup>は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

							それは、

(6) (正答) (それは、)「白い子犬がとびこんでくるように」という表現です。なぜなら、ミオの異変に気がついてた佐野のボールがやさしくて、ミオに対する思いやりにあふれていることが伝わってくる表現だからです。<90 字>

市 39.5 県 44.7

差 -5.1 自校( )

100		70				